

松本徳彦写真展
越路吹雪のすべて





「コーちゃん」の愛称で親しまれた越路吹雪さんは常にステージの華として脚光を浴びてきました。その名は今も不滅です。今回の展示は「越路吹雪生誕 100 年」を記念してのもので、写真は越路吹雪の日生劇場出演以来、最後の舞台までを取り続けてきた数万枚のフィルムの中から選んだもので、日生劇場のリサイタルを中心とした、舞台姿から私生活、海外で撮影したカラー、モノクロ作品数十点と 12 年間のプログラム、チラシ等の印刷物、写真集などポストカードなどを展示いたします。

ご来場をお待ち申し上げます。

松本徳彦





©N.MATSUMOTO























©N.MATSUMOTO















©N.MATSUMOTO

【松本徳彦 略歴】

1936年 広島県尾道市に生まれる。

1958年 日本大学芸術学部写真学科を卒業。主婦と生活社に入社（1957年）

1963年 フリーとなる。週・月刊誌を中心に、海外の舞台芸術家や日生劇場、劇団四季、水谷八重子、越路吹雪などの撮影をする。

日本の写真史研究、歴史書の執筆、写真美術館の設立推進委員、日本写真保存センター設立運動に係る。

現在 公益社団法人日本写真家協会副会長、（公社）日本写真協会理事、（一社）日本写真著作権協会専務理事、全日本写真連盟関東本部委員

【主な個展】

1972年 「世界の舞台芸術家 1955～1972」 新宿、銀座ニコンサロンほか

1978年 「水谷八重子 舞台とその素顔」 新宿、大阪ニコンサロンほか

1981年 「越路吹雪 華麗なる世界」 新宿、大阪、銀座ニコンサロン

1990年 「マルセル・マルソー」 新宿、名古屋、福岡コニカフォトギャラリー

1995年 「日生劇場の演劇 1964～1971」 JCI フォトサロン

2001年 「劇場都市・ヴェネツィア」 新宿パークタワーギャラリー1
「ようこそ劇場へ」 新宿コニカプラザ

2002年 「越路吹雪の世界展」 日本橋三越本店（主催：NHK プロモーション）ほか

2004年 「水谷八重子 二代の貌」 ポートレートギャラリー

2009年 「しまなみノルマンディー 二つの都市」 尾道市立美術館

2014年 「迷宮都市・ヴェネツィア」 富士フィルムフォトサロン東京

【主な著作】

1980年 写真集『水谷八重子 1974～1979』（平凡社）

1984年 『カメラを始める人のために』（池田書店）

1989年 戦後写真史『昭和をとらえた写真家の眼』（朝日新聞社）

1996年 『写真家のコンタクト探検』（平凡社）

2002年 『日本の美術館と写真コレクション』（東京都写真美術館叢書 / 淡交社）

2003年 写真集『越路吹雪 愛の讃歌』（淡交社）

